災害時に拠点となる病院

田川市立病院DMATメンバー（令和3年1月12日現在）

医　　師／足立知大郎・杉修造・今村克郎・鴻江俊治
看　護　師／七呂清隆・井上真紀・井手上伸子・成清眞由美・岩下哲也
医療技術職／重藤直哉・大久保涼

詳しくはこちら

災害派遣医療チーム DMAT

DMATとは、災害急性期（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持った専門的な研修や訓練を受けた災害派遣医療チームのことです。

自然災害・人的災害時にいち早く現地にかけつけ、広域医療搬送、病院支援、域内搬送等を行います。

田川市立病院DMAT

当院のDMATは、医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師など11人がチームとして活動しています。日頃から災害対策マニュアルの整備や技能維持研修、実動訓練等を受け、非常事態に備えています。また、田川地域の防災教育活動（出前講座や健康講座等）や訓練等に積極的に加わっています。

平成28年4月14日に熊本県熊本地方で最大震度7の地震が発生。当院DMATは14日～16日に現地で4人が活動。

経験を活かして

●平成28年4月の熊本地震

地割れした道路を駆け抜け、地震の中で患者さんを背負って搬送しました。また、被災した病院において各地のDMAT等と連携し患者の受け入れに尽力しました（左上写真）。

●平成30年2月の線路内列車事故

出動要請から20分後にはレスキュー隊と協力し、列車の下に挟まれた傷病者の診察をするとともに病院にいるスタッフへ、すぐに治療を行えるよう連携した対応を行いました。

感染症対策チームをサポート

当院の医療体制を保ち、地域の医療を守るため、現在、奮闘する感染症対策チームをサポートしています。新型コロナウイルス感染症患者さん等への急変対応マニュアルを作成。また、個人防護具（PPE）の着脱手順（動画）を作成し周知しています。

筑豊地区総合防災訓練で各関係機関と連携し患者を診察・搬送。